

<金標準、政府機関の閉鎖と高市トレー ドの円安・・・>



(出所：オアシス)

週末に雇用統計の発表が政府機関の閉鎖に伴い延期され、一時 10 月の FOMC における利下げ観測も後退するなど方向性を見失う動きを見せたが、特朗普大統領は民主党に圧力を掛ける意味合いから数十万人の米国連邦職員の大量解雇を強行する可能性が高まるなど、市場は逃避の動きを強めている。

特に HSBC は地政学的リスク、財政面の不確実性、連邦準備制度理事会（FRB）の独立性への脅威を背景に、NY 金が短期的に 1 オンス当たり 4000 ドルを超える可能性があると指摘するなど、大手投資銀行は金価格に対して強気の予測を上方修正している。

また自民党総裁選で、金融緩和策を推す高市氏が女性初の自民党総裁に就任する事が決まり、為替市場では 149 円台へ円安・ドル高の動きを見せている。そのためドル建て価格の高値追いに円安が重なるなど、政府機関の閉鎖が続く限り、リスク逃避の需要が維持される事から 19000 円へ向けた上昇が続くと思われる。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が切り下げ、シグナルは上昇している。RCI は短期が切り下げるも、長期は高値を維持している。特に日足が指数平滑移動平均線を超えて存在し、指数平滑移動平均線も切り上げるなど高値追いの動きを示唆していると思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に關し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 1,955,000 円(2025 年 10 月 6 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 89,760 円(2025 年 10 月 6 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>